



伊藤 盛幸 議員

■新花巻図書館建設場所の意見集約について

建設場所について、科学的根拠(数値やデータ)があれば論点もすっきりする。それを示した上で、市民の意見集約を図るべきと思うが、考えを伺う。

A

今後、建設候補地の比較調査を行いたいと考えており、専門業者に委託する調査により双方の建設候補地の諸条件を整理した比較資料を作成する。その成果を市民に提示し、意見集約を図っていきたいと考えている。



■地域づくり活動の充実について

コミュニティ会議の代表者と市長が直接意見交換を行い、行政と地域の協働の在り方や未来を語るなど、共通理解を深めることが大切だと思いが、考えを伺う。

A

現在、コミュニティ会議が運営する市政懇談会へ可能な限り出席しており、そのような機会を通じて情報交換はできていると考えます。今後、コミュニティ会議の在り方等について修正が必要と考える場合は、まずは事務レベルで検討し、必要に応じて話し合いを行いたいと考えています。

■市職員の病気休暇の実態について

令和5年度の病気休暇の人数および主な内訳について伺う。

A

病気休暇を取得した職員は159人であり、そのうち精神疾患によるものが30人、精神疾患以外によるものが129人となっている。令和4年度と比較すると、精神疾患以外によるものが大幅に増加しているが、新型コロナウイルスが5類感染症に変更になったことに伴い、特別休暇の対象としていた取り扱いを病気休暇としたことが主な要因であると捉えている。

■ふるさと納税の返礼品について

令和5年度において人気のある返礼品の上位5品目を伺う。

A

返礼品を寄付額順に集計すると、株式会社ネクサスの牛タン、同じく同社のハラミ、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社の市内工場で生産されているお茶などの飲料、高源精麦株式会社の白金豚、ハヤチネフーズの飲むヨーグルトとなっている。



久保田彰孝 議員

■土砂災害について

令和4年8月14日、新鉛温泉と鉛温泉スキー場の中間地点にて発生した土砂災害の状況について伺う。

A

当該箇所は土砂災害警戒区域ではないが、県道西側斜面の上部を起点に発生し、道路部に幅14メートル、高さ80センチメートルにわたり土砂等が流出し、車両が通行できなくなった。前日からの雨により危険度が増していた中、発災数時間前の短時間にこれまでにない大雨が降ったことによるものと推測している。



Q

迂回路の整備について伺う。

A

本土砂崩れの際には、普通自動車で訪れた宿泊客に対し、既存の市道鉛・花巻温泉線や県道297号を迂回路として通行する手段で対応した。当該迂回路については、冬期間の除雪の問題や宿泊客が安全に走行できるよう、令和4年9月定例会にて補正予算を計上し、令和4年12月下旬には砂利道区間のアスファルト舗装とガードレールの整備を行っている。



盛岡 耕市 議員

■材木町公園内の施設について

材木町公園馬面電車修繕調査設計業務委託の進捗状況について伺う。

A

今回の業務委託では、令和4年度の調査で示された修繕方針3案の比較検討のための図面、数量、作業工程などの資料を作成することとしている。いまだ調査中であるが、令和4年度の調査で判明した欠損部品などを復元するための参考資料について、書籍などを調査、収集しているところであり、令和6年3月には調査結果が提出されることとなっている。



Q

閉館中の市民の家の活用について伺う。

A

過去に開催した市民説明会において、市民の家を残してほしいとの意見が世代を問わずあったことから、専門家に調査いただいたところ、活用できる可能性があるとの見解をいただいた。活用方法として、現在の花巻図書館を花巻コミュニティセンターとして利用することを考えた場合、市民の家を整備し安全に利用することができれば、一時的に花巻コミュニティセンターの移転先として利用する可能性も考えられる。

■新花巻図書館の整備について

駅前候補地は、スポーツ施設撤去費用に加え付帯工事費も市の負担となる。他に立体駐車場の建設費および管理費、将来は経年劣化による撤去費用もかかる。人口減少を勘案すると、未来に大きなツケを残すことにもなると思われるが見解を伺う。

Q

駅前候補地は、スポーツ施設撤去費用に加え付帯工事費も市の負担となる。他に立体駐車場の建設費および管理費、将来は経年劣化による撤去費用もかかる。人口減少を勘案すると、未来に大きなツケを残すことにもなると思われるが見解を伺う。

A

新しいインフラ整備については、将来のこととも見据えて整備することも必要と考える。きちんと整理をした上で具体的に提示し、議論をしていきたい。



羽山み子 議員



Q

図書館はまちづくりの役割も持つ。図書館利用者が駅前で完結するのではなく、まなび学園周辺から大堰川プロムナードを散策したり回遊することで、近隣の飲食店に立ち寄るなど、市街地活性化につながると思われるが、市の見解を伺う。

A

図書館は基本的に読書や調査に使われる。観光要素的な面では強い影響を与える施設ではないと考えている。



しゅうろ やすひろ 鹿討 康弘 議員

■8050問題について ※説明は5ページ一覽表参照

地域共生社会の実現に向け、重層的支援体制整備事業を導入する考えはないか伺う。

A

現在、8050問題の相談対応は、地域包括支援センターと障がい福祉課が中心となり関係機関と連携を図り対応している。相談内容は複雑かつ複合化しており、課題解決のための連携体制づくりは必要と認識していることから、令和6年1月に研修会を行う予定としている他、県内の先進地事例を参考にしながら、実施について検討していきたいと考えている。



Q

JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備について

A

本整備の理由の一つ「駅を中心とした魅力あるまちづくり」には、西口開発も含まれているのか伺う。西口には改札口がなく、公共地下道は暗い印象があり、安心して利用できる施設とは言いえない状況が続いている。こうした状況を改善するため、安全安心に利用できる施設として整備を行うものがある。また、西口整備により、利便性の向上が図られるとともに、民間の経済活動を含めた様々な動きにとって、ポジティブな要因として働くことを期待している。